

堺市障害者自立支援協議会 障害当事者部会 交流会 実施報告

日時： 平成27年9月30日（水）14：00～16：00

場所： 堺市産業振興センター 4階 セミナー室4

対象： 市内在住の障害当事者

参加人数： 19人（身体障害3人、知的障害2人、精神障害13人、難病1人）

※ 障害当事者部会からの参加人数は9人

合計 28人

傍聴： 3名

（1）「障害当事者部会とは」

説明：丸野副部会長

（2）交流会

テーマ： 「地域で困っていることはありませんか？～差別解消法に向けて～」

「差別解消法について」 説明：茅原委員

グループ①

◎地域で困っていること

【住居】

- ・家を探すときに不動産屋との契約の段階で、精神障害を理由に断られることがある。また生活保護を受けている人も契約できない場合があるが、どうしてダメかの説明がない。精神障害の人は周りに迷惑をかけない人が多い。このような事例が多いと、精神科に長期入院している患者が地域に戻れない。

【就労】

- ・障害をオープンにして就職していたが、家族からは言わなくてもよいと言われていた。薬を飲んでいることも職場には伝えていた。
- ・今、職業能力開発校でビジネスマナーを学んでいるが、今後働くにあたって不安が強い。
- ・内服薬の調整や、頓服の使い方、眠気などの副作用など働く上で心配なことが多い。
- ・精神の人は欠格事由が多い。ガードマンや看護師、パイロットなどの職種や、てんかんの場合の運転などで医師の診断が必要であったり、制限される内容が多い。

【偏見】

- ・ヘルパーさんは健常者の夫に対して「大変ですね」と同情したり、相談するときは私ではなく夫にしている。また通院の時には、夫と医師とで話をするので、診察の時は夫には外で待ってもらおうようにした。

【交通費等】

- ・100 km以上の切符を買う時、駅員が忙しくてなかなか出てこないため電車を乗り過ごすこと

がある。また後ろに人が並ぶと気をつかってしまう。そのため一度普通の切符を買ってから車内で精算するようにやり方を変えた。

- 療育手帳を持っているが、第2種なので介助者は半額にならないのに、いつも「一人ですか？」と質問される。
- 南海電鉄では、精神の手帳でも半額になった時期があったが、今はダメで統一されている。精神の手帳の割引については市によって対応が様々。
- 14～15年前に団体で京都に行った時に、ある施設を利用するときに精神の手帳をまとめて渡したが、「障害はない」と見た目で判断されたことがある。

【聴覚障害者への対応】

- 病院で名前を呼ばれても分からないといったことが昔はあったが、今は受付に言っておけば呼んでもらえるようになった。
- 筆談を断られたこともあった。
- お寿司屋で店員と話が通じずに、揉みあいになって店員を押し倒す事件があった。
- 健康福祉プラザで、聴覚障害の人に対して理解のない対応をされたことがある。
- 昔は手話通訳などもなく子守をさせられた時代もあったが、通訳のできる人が増えてきている。
- 要約筆記や手話通訳者を、何かある度に呼ぶことに遠慮してしまう。
- 筆談するのは時間のかかること。言葉が文字に変わるような便利なものも出てきている。
- 役所の窓口には「耳の不自由な方には筆談しますので・・・」の説明文があるため、役所の人は親切に対応してくれる。職員の人でも覚えてくれる人が増えればいいと思う。
- 初等教育で手話必須に向けて動きがあればと思う。

【障害者差別解消法】

- 今回の差別解消法での合理的配慮については努力義務になっていて、法的な処罰は与えられない。
- 法が整備されても、差別が実際なくなるのは難しい。
- 差別を受けた時に、どこに相談に行けばいいのかが決まっていない。
- 友人や家族間では認められないというのはどうか。
- 裁判が増えてくる。
- 差別を受けた事例をたくさん出していかなければと思っている。
- 障害当事者と周りの人とで、理不尽に思っていることについて、双方で理解し合うことが必要。

◎その他

- 本日の意見は、堺市障害者自立支援協議会へ挙げていく

グループ②

【虐待の話題から】

- 両親も身体が悪く、虐待の話をテレビで見て、(家の中にも)カメラをつけた方がいいのかという話になった。

- ・高齢の方、施設で多いかも。堺市でもあったらしい。施設のスタッフにもそうなる理由がある？

【個人的に困っている事】

- ・小麦粉アレルギー困っている。 ⇒(仕事ができなくなって)離婚した。
- ・妻とよくけんかする。
- ・娘のバイトしているスーパーに行けない。
- ・リストカットが原因で別れることになった。
- ・中学校の子どもが寄り付かない。 ~誰でも通る道…仕方ないかな。
- ・漬物をつけるのは体力がいる

【人とのかわりで困っていること】

- ・コミュニケーションが困っている。近所づきあいとか。あいさつの後の会話に困る。違和感がある。しんどくなる。あいさつ程度がちょうど良い。
- ・国勢調査に協力したいけど出来ない。自分のことを見つめていくとしんどくなる。近所の方には障害のことを言っていない。言う勇気がない。
- ・デイケアでは何度も聞き返すと悪いなあと思い、話しかけ辛い。訪問看護の方には聞き返せるけど。友だちは増やしたいのに…

【病気・障害について困ること】

- ・病気のせいにするな、障害に甘えるなどと言われること。
- ・親戚に言われた。親戚には親戚の考え方だから。冷たいなと思った。迷惑かけてないからいいや。親戚づきあいも上手に。
- ・なる前に戻してくれよ~と思う。
- ・障害年金、兄弟にとられている話を聞いた(ニュースで)。よく聞く。成年後見をつけたら良い。後見人の犯罪も増えていると聞く…
- ・障害を理由に家を借りられない。何十年か前だが 50 件程断られた。障害あるから火の始末できないから、いろんな人が出入りするから等理由でない理由で断られた。
- ・家主さんが福祉に理解があるが、逆に言うとビジネスにしている。「部屋空いているから友だちいない？」と聞かれた。
- ・自治会から出ていけと言われた(夜中に TEL してた躁状態の人)団地だからツーツーカーカー。
- ・情報の多い時代だけど分かってもらえないことも多い。
- ・カメラ増えている。ショートステイにはあるよ。車にもついている。⇒個人情報の問題
- ・障害が違ったら相手のことが分からない。
- ・障害あってもなくても出来ることは自分でする、しつてもそう。例えばあいさつ。

【その他】

- ・作業所の料理会で料理を覚えられた(切り方、作り方)
- ・揚げ物とか大変。片付けが大変。

グループ③

◎地域で困っていること

【障害理解など】

- ・見た目でプールや風呂屋に行けない。以前はスポーツクラブに行っていたが、他の利用者から病気がうつるのではと言われ辞めることになった。(難病)
- ・糖尿病なら障害じゃないのに(当事者とは言わないよね)、統合失調症なら障害になる。もっと違う見方をしてほしい。
- ・障害者の“害”が嫌だ。好きで障害者になったわけではない。
- ・娘の学校から自分のことを聞かれた。(精神障害)
- ・子どもから「おっちゃん、おかしいんちゃう？」と言われた。子どもは正直だからしょうがないけど・・・。(難病)

【支援者について】

- ・ヘルパーがいない。変えることになったが新しい人を見つけることができない。
- ・しっかりしたヘルパーが少ない。合わなかったら事業所を替えている。
- ・ヘルパー事業所の数は増えているけど、ヘルパーの人数自体は変わっていない。

【公共交通機関】

- ・駅員がいない駅が最寄駅のため、遠い駅まで歩いている。身体障害の人やお年寄りの人も困っている。(身体)
- ・駅員がいないと、困った時に言う人がいない。呼び出しボタンあるけど待たないといけない。
- ・公共交通機関の割引について、精神障害だけ利用できない。
- ・切符を一人で買うことが難しい。ICカードで対応している。(身体)
- ・電車やバスなど車椅子だと乗る場所が決まっている。優遇しろと言っているわけではないが。

【その他】

- ・障害者の枠で働きに行く予定。
- ・働きたいけど、精神障害者だと難しいかも、本当は働きたいのに。
- ・入院していて利用していなかったからか健康福祉プラザの教室に当選しなくなった。
- ・スポーツ大会のアーチェリーでは精神障害があるとでることが出来ないらしい。
- ・薬の影響で水をたくさん飲む、そのためトイレもたくさん行きたくなる。
- ・泉北の団地がもっとバリアフリーになったらいいのに。また団地には空き店舗があるのでそこを障害者が働ける場所にできればいいな。
- ・薬で病状が落ち着いている、作業所に通ったり色々な所に通っている。

◎がんばっていること、こんなことしたい

- ・野球を見に行ってきた。駅も京セラドームも車椅子でスムーズに移動できた。環状線はだいたいエレベーターが付いている。でもわかりにくい。
- ・電動車いすで動けるようになってきた。電池も良くなってきた。
- ・作業所で友だちが出来た。
- ・障害があっても幸せになれる。生きがいをもってやっていけば！！
- ・作業所が楽しい、特に休憩時間のおしゃべりが楽しい。
- ・女性ばかりのグループホームが楽しい。世話人さんも助かっている。
- ・キャンプやハイキングなど行ってきた。10月はヘルパーさんとミカン狩りに行く予定。
- ・自分で起きてちゃんと準備をして作業所に行っている。

- ・将来は家を見つけて、生活費も自分で稼ぐ。離れている家族にがんばっているところを見てもらう！
- ・こういう場に来られるようになっただけでもすごい。シュークリームまで食べれて幸せ。
- ・主治医やグループホームのスタッフ、ケースワーカーもよくしてくれる。
- ・定年まで仕事をしたい。
- ・(差別解消法について) 役所だけではなく、一般企業も変わっていかないと。ちょっとずつだけど。一般の方にはわかってもらうにはどうしたらよいか。知識は必要では。

グループ④

◎これは差別かなと思ったことについて

- ・ご飯を食べている時、「食べ方が変」とこそこそ言われたり、見られたりした。
- ・ハイツを借りようとして、精神障害者という去何軒か断られた。
- ・病院に入院したことで友達が減った。また「怖い」と言われた。
- ・障害をクローズにしている。外部と接点を持たない。
- ・仕事をしようと思わない。怖いから。
- ・東京に母と一緒にいき、東京タワーを見に行きたくて駅員に道順を聞いたが、東京弁だったからか、理解しづらく、結局たどりつかなかった。
- ・警備会社に面接に行き、病気(脳疾患)のことを伝えたら断られた。
- ・健常者に主体性を奪われる。何もかも決められる。
- ・筆談がないと動けない。理解者のもとでしか動けない。仕方ないと妥協している。
- ・「ほんまに病気か?」と言われる。(内部障害者)
- ・靴を買う時、自分が欲しいものではなく、「こっちの方が歩きやすい」と勧めてくる。選ぶのは私だ。
- ・バリアフリーが少なすぎる。『見た目が良い所』だけ。『健常者バリアフリー』である。

◎ほかに障害者差別解消法についての意見として

- ・「堺市のガイドライン」はどうなっているのか?
- ・どこに訴えたらいいのか?

◎こんな風に工夫したら理解してもらえるのでは?

- ・障害を理解してくれる人を増やす。24時間対応で。(ヘルパー・保健センター・ケアマネ)
- ・わかりやすい説明がほしい
⇒障害の中身まで理解してもらうのは難しい…
- ・罰則のない法律だから、多くの人に理解してもらえない。
⇒裁判に訴えることができる。役所に苦情窓口ができるのでは?
- ・常に誰かに相談しておくのは大事。
- ・病気を理解してもらう。わかってもらうまで言う。
⇒一人ひとり違うのを理解してもらうのは大変。

◎ほかの意見として

なぜへりくだって生活しないといけないのか？

◎地域生活でこれは困ったと思うところ

【日常生活】

- ・物の値段が上がった。物価が上がった。
- ・夜中に体調が急変して救急車を呼んでも、帰りのタクシー代がない。
- ・火事の時の連絡方法。
- ・家の鍵を失くした。
⇒すぐに相談できる人がいない。
- ・ごみの日、猫やカラスが散らかす。
- ・それなりに生活していかないと仕方がない。
- ・今は家族がいるから手続き関係など困っていないが、一人になったらどうなるか？
- ・障害者の社会参加について。(聴覚障害者)
- ・講演会に参加したいが、一人で行ってもわからない。常に要約筆記がいるわけではなく、また内容も制限されている。自分が行きたいと思っても、政治・宗教はダメ。

【外出時】

- ・手足の不自由な人や車いすの人は外出が不便だと思う。道がガタガタで悪い。若い子が集団で歩いている。
- ・市役所に行った時、たらい回しになった。役所内は分かりにくい、広い、疲れる、行くのが嫌になる。
- ・初めて行くところなどガイドヘルパーが必要。ガイドヘルパーなどの情報は知っている？
⇒相談員とかから聞く

【まとめ】

- ・障害を持つと妥協やあきらめの気持ちを持ってしまう。
- ・出来るだけいろんなことをしていきたい。

◎幸せだなと思うこと

- ・恋。人を好きになること。
- ・子どもは宝。
- ・デイケアで知り合った仲間と毎日しゃべっている時
- ・食べている時。月1回焼肉を食べに行く。あとは家でゆったりご飯を食べている時。
- ・ボランティア、読書
- ・好きな考古学や世界遺産を目指して発掘調査を見に行ったり。
⇒新聞や本人、インターネットから情報が入れば、世界が広がる。

(3) アンケート結果

※ 回答者数：17人（回収率：89%）

Q. 交流会はどうでしたか

- 1 よかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・15人
- 2 どちらかといえば、よかった・・・・・・・・・・ 2人
- 3 どちらかといえば、よくなかった・・・・・・・・ 0人
- 4 よくなかった・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0人

（無回答：0人）

【ご感想やご意見など、ご自由にお書きください】

- もっと活動していきたいと思った。
- この集会に参加して自分以外の様々な人の意見を聞くことができ、うれしかった。
今年の6月、私は「障害者」になってしまったけど、皆のように希望を見失わずチャレンジしていきたい。病気のことだけじゃなく、家族も含めてみんなが「幸せ」になれると良いなと思います。
- 皆の意見を聞くと、困ったことや差別をされたことなどたくさん意見が出ましたが、私一人ではわからないことだったので勉強になりました。「差別は」は悲しく辛いことなので皆の力を集めて、より良い社会を築いていかなあかんと思った。テーマについての発言が難しかったかなと思いました。
- 障害…普通と少しハンデがあるだけなのに。私は障害をもって初めて色々な世界を知った。色々な事をクリアして、“生きて行く”という力を身につけよう。いたわりあい、支え合い、共に笑う、働く、遊ぶ。私は、主人と娘と一緒に暮らしていません。いずれ、一人暮らしです。家を借りる時に、作業所の理事長さんが、力添えしてくれるといいですが、就職も心配しています。
- 病気になって、天と地がひっくり返った生活になり、涙で眠るのもしんどくボーとしていた。しかし、自分の力を周囲の方に引き出してもらい、世の中の事がわかっていく。病気になるとマイナスになるけど、今は作業所に通い、自炊し、こういう勉強会に参加することで、世間知らずの生活を切り開いたような気がする。
一番辛いと自分は思っていてなかなか実行できなかった心、1つ1つ感謝して夢と希望に代えようと思う。今回はありがとうございました。皆様にとってこの法案がより良いものになりますように。
- アクセスは福祉会館の方が良いかも。堺市全体からしたら、中百舌鳥の産業振興センターの方が良いのか。わからない？
- 途中に差し入れのシュークリームは大きく食べにくい。ふつうサイズのシュークリームが良い。手書きのスクリーン写したのより、パソコンで打った方が読みやすい。
- 言いたい事が言えた。私は父を亡くして一人暮らし。母も一人暮らし。理解者の二人の妹もすべて嫁いでいて、姪の一人は結婚している。今、とても幸せで病院の精神科2週間に1回、内科1か月に1回見てもらって、ヘルパー、訪問看護とも良い関係で

薬を食後必ず飲んでいきます。歯科も耳鼻科も泌尿器科も同じ病院で、別の病院の脳外科通っています。既往歴がくも膜下出血のため（大学生時）、2年前にオペ（こぶの発生のため）しました。土日以外病院通い。生活訓練施設に通い、OT（外来）にて書道しています。

- 今回の交流会に参加できて本当に良かったと思います。グループの方々の意見で自分と似た事を思う人もいるのだなと思った。障害によっては、まだまだ苦労をすることになるだろうと思う。今後もこの様な活動がんばって下さい。
- はじめてですが、いろいろの話をきけて良かったです。
- 年に数回あれば、嬉しいなと思います。
- カメラは虐待防止です。
- 他の障害の方の話が聞けて良かった。
- 初めて参加しました。こういうイベントがあるのは以前から知っていました。町の権利運動家として、一度体験しておくべきだと思って参加しました。他の障害者と交流したことは、貴重な体験です。
- 自分は精神障害者ですが、身体、知的、難病の方々とお話し合いする機会は初めてでした。皆さんの意見を聞き、とても共感でき、勉強になりました。また、参加したいです。ありがとうございました。
- 障害当事者部会の現状を大体理解できた。
- できたら、各区ごとに（付近の施設利用者を対象）として、こういう機会を設けてほしい。場所は区役所内で。
- 障害によって様々に出来る事、出来ない事を持っており、他障害の方の困っている事も学べて大変良かったです。障害者へ寄り添って頼れる健常者を一人でも多く増やせていけたら良いと思いました。これからが当事者の第一歩だと思います。
- こんな障害者部会が月に一度あれば良いなあと思いました。たびたびにあった方がいいんじゃないですか？緊張しました。（とつても）とても心と心が通じ合い共感できました。ありがとうございました。次回は緊張しないで出席したいです。